

つなげる力を、明日のために。トークネットのコミュニケーションマガジン「ジョイント」

# Joint

vol. 15  
2016 June



宮守川橋梁／岩手県

未来への挑戦[特集インタビュー]

## 「宮沢賢治をつなぐ」

宮沢賢治生誕120年“賢治さん”と祖父の思いを後世へ

株式会社林風舎 宮沢 和樹氏

技をつなぐ

父から娘へ受け継がれる技  
地域の伝統文化を次代へつなぐ

馬具・革製品 塩釜馬具店様

導入事例 [新たな価値をつくるビジネス]

高速イーサネット専用サービスで  
2拠点間を万全なネットワークで接続  
株式会社新潟日報社様





(右)「宮沢賢治記念館」常設展示室。科学・芸術・宙・祈・農など賢治の心象世界や作品世界に触れることができる展示内容。  
 (上) 記念館に展示されている賢治愛用のチェロ。  
 (下)「林風舎」に飾ってある『注文の多い料理店』をモチーフにした看板。記念館の敷地内には童話に登場する店をイメージした「レストラン山猫軒」があります。

# Joint

CONTENTS vol.15 2016 June



装飾された「チャグチャグ馬コ」の装束。

03

未来への挑戦「特集インタビュー」  
**「宮沢賢治をつなぐ」**  
 宮沢賢治生誕120年  
 『賢治さん』と祖父の思いを後世へ  
 株式会社林風舎 宮沢和樹氏

07

技をつなぐ  
 父から娘へ受け継がれる技  
 地域の伝統文化を次代へつなぐ  
 馬具・革製品 塩釜馬具店様

09

地域ナビ  
 知りたい、伝えたい！地元の魅力  
 青森編

11

導入事例  
 「新たな価値をつくるビジネス」  
 高速イーサネット専用サービスで  
 2拠点間を万全なネットワークで接続  
 株式会社新潟日報社様

13

地域の旬情報 Joint's TOPICS  
 宮城に夏の訪れを告げる風物詩  
 「第69回 塩竈みなと祭」が7月18日に開催されます！

14

お客さま紹介  
 一ノ蔵様(宮城県大崎市)  
**TOHKnet ServerMail**  
**「ファイル共有サービス」**  
 第8回データセンター展春に出展  
 読者プレゼント



童話作家・詩人  
「宮沢賢治」の誕生

宮沢賢治の作品で生前に出版されたのは、童話集『注文の多い料理店』と、詩集『春と修羅』の2冊のみでした。

「現在、世の中に出ている作品のほとんどは、祖父の清六を通して本になり発表されました。最初はどの出版社からも相手にしてもらえなかったそうです。祖父は尊敬する兄の賢治さんが残した原稿を、世に出すことに使命感を持って、周囲の助けを得ながら根気強く東京の出版社を回りました」

祖父・清六さんの思い出とともに語る宮沢和樹さん。当時、すでに詩人として活躍していた高村光太郎や草野心平が尽力してくれたことは、清六さんにとって大きな励みとなりました。

「光太郎先生は『春と修羅』を読み、自分の作品より後世に残る作品になるに違いない」と評価してくださったそうです。全集を出す時は、装丁して題字まで書いてくれています。そのような支えがあったから、祖父も続けてこられたのではないかと和樹さん。

もう一つ強烈に印象に残っているエピソードとして、終戦の年の話を聞かせてくれました。

「東京大空襲で家とアトリエが焼けてしまい、光太郎先生が花巻の宮沢家に疎開していた時のことです。念のため防空壕を作っておいた方が良いとアドバイスされました。祖父は裏庭に防空壕を掘り、土蔵と二つに分けて賢治さんの手帳や作品原稿、資料などを保管しておいたそうです」

1945年8月10日、花巻は空襲に遭いました。家族が郊外に避難する中、清六さんは防空壕へ。焼けてしまった蔵書や文房具などもありましたが、兄に託された原稿は守り切りました。

「賢治さんは作品を残しました。しかし、その後をつなぐ人たちがいなければ作品の半分も残らなかったわけです。今、私たちが多くの作品を読むことができるのは、賢治さんが書いた原稿を守り、後世へ残そうとした祖父や周りの方々の思いが伝わっているからだだと思います」

和樹さんは、清六さんに聞いた、これらの話を伝えていくことは、自分の役割と受け止めているそうです。



## 宮沢賢治生誕120年

「林風舎」2階カフェは、ゆったりとくつろげる空間。

賢治さんは作品を残しました。しかし、その後をつなぐ人たちがいなければ、作品の半分も残らなかったのです。

## “賢治さん”と祖父の思いを後世へ

37年の生涯で詩や童話など多くの名作を残した、宮沢賢治。作品の数々は、今も幅広い世代に親しまれています。「林風舎」は宮沢賢治作品が読み継がれ、ゆかりの品や肖像を守るため設立。社長であり、賢治の実弟・清六さんの孫である宮沢和樹さんに、宮沢賢治の作品がどのように守られ、後世にどうつないでいくのか伺いました。



①「林風舎」2階でも賢治作品を販売。「賢治さんの作品は、同じものでも子どもの時と、大人になって読み返した時の印象がぜんぜん違う」という話をよく聞きます。個人的に好きなのは『氷河鼠の毛皮』と短編の『税務署長の冒険』です」と和樹さん。



②「雨ニモマケズ」の複製手帳。当時の心情や考え、短歌などが書きとめられています。32ページ分抜粋し販売されています。  
③「林風舎」1階のグッズショップでは、「てくの坊こけし」や賢治が書いた水彩画「日輪と山」なども販売。



「林風舎」。1994年に設立。宮沢賢治の作品や、作品をモチーフにしたオリジナルグッズを販売。2階はカフェ。  
●営業時間/10:00~18:00  
●定休日/毎週木曜日

「宮沢賢治をつなぐ」  
林風舎 代表取締役 宮沢 和樹氏  
(みやざわ かずき)

[プロフィール]  
宮沢賢治の実弟・清六さんの孫。賢治に関する講演活動、林風舎を通してオリジナルグッズや著書の販売を行う。2015年リニューアルした宮沢賢治記念館の展示監修。

株式会社 林風舎  
岩手県花巻市大通り1-3-4  
TEL.0198-22-7010  
<http://www.e-haweb.com/home/rinpoosha/>





インタビューから考える  
つなぐ思い



TOHKnet 岩手支社 千葉 孝則

宮沢賢治という人の  
考え方のスタイルに感銘

宮沢賢治作品で印象に残っているのは『月夜のでんしんばしら』です。子どもの頃に読んで、電柱が兵隊に扮して行進しているのが非常に興味深かったのを覚えています。今回、電気事業の発展やシベリア戦争などの時代背景、科学者としての宮沢賢治を知り、作品の奥深さを感じることができました。また、「古いものを残すだけでなく、古いものを伝えていくにはいろいろな見方や、新しい考え方を取り入れていくことが大切」というお話に共感しました。

私は入社9年目で、現在岩手県内全域の設備の保守に携わっています。今あるものをそのまま残していくだけではなく、技術職として、どんどん改善しながら施設の発展に貢献していきたいと思いました。今回のインタビューを機に、賢治ゆかりのスポットをめぐるつもりです。



②リニューアルされた宮沢賢治記念館。賢治の作品世界をパネルや資料などで展示。少しうつむき加減の有名なポーズの写真は、ファンだったペーターヴェンを真似て撮らせたもの。  
③より深く宮沢賢治に関する展示を行うため、新たに特別展示室を設置。  
④記念館展望ラウンジからの風景。胡四王山からの花巻市内の眺望が楽しめます。  
⑤イギリス海岸。賢治祭のある9月21日、ダム放流量を調整してかつて賢治が見ていた白い泥岩層が出現させる試みが行われています。



①賢治が農民たちに農業技術や農業芸術論などを講義するため、設立した羅須地人(らすじん)協会の建物。現在は県立花巻農業高等学校校内にあります。

『雨ニモマケズ』の文章は後半の“行って”という部分が大事。

祖父・清六さんを通して知る「宮沢賢治」

「私の中で宮沢賢治さんは、本を読む前に祖父から聞いたことが大きいです」

生前から賢治の良き理解者であった清六さんは、長年にわたり原稿の保存整理に尽力し、全集などの編さんや校訂に携わりました。その祖父の側で、和樹さんは作品の持つ意味や、込められた思いなどに触れる機会を得たのです。

「童話作家や詩人などの肩書きが付いていますが、実は賢治さんの専門は地質学で科学者なんです。たとえば『銀河鉄道の夜』はファンタジー作品と言われることが多いですが、祖父は『空想ではなくきちんと根拠があり、そこから想像して書かれたものだ』と言っていました」

そのことを裏付けるようなエピソードがあります。宇宙飛行士の毛利衛さんが清六さんを訪ねてきた時の話です。

「毛利さんは『銀河鉄道の夜』のファンで、どうしても聞いてみたいことがあったそうです。物語の中に、宇宙空間の中の星の輝きや漆黒の闇などを表現している部分があるけれど、それ

は実際に見ないと描写できない光景なのに、なぜ書けたのか尋ねました。祖父が「たぶん見えたのでしよう」と答えると、毛利さんは納得したように頷いていました」

また、清六さんが空襲から守った賢治の手帳に、有名な『雨ニモマケズ』の詩が記してあります。その詩にまつわる興味深い話を聞かせてくれました。

「雨ニモマケズ…の文章は作品として書かれたものではないのです。賢治さんが亡くなる約2年前、体が弱っている時期に自分自身に向けたものでした。賢治さんの一面を知る良い文章だからと、光太郎先生と祖父が作品化を決めたそうです。この文章の中で大事なところは

『東に病氣の子どもがあれば行って』以降の後半部分だとよく祖父は言っていました。『行って』という言葉が何度か出てきますが、自分が動いて実践することが大切なのだと。病床にいてそれが叶わない賢治さんの祈りだったのでしよう」

清六さんを通して、宮沢賢治の原稿が世に出て、多くの若い世代へ伝えたい宮沢賢治作品

清六さんを通して、宮沢賢治の原稿が世に出て、多くの

人に読まれる作品が生まれました。そして、孫である和樹さんが、清六さんを通して賢治さんに触れ、宮沢賢治と作品にまつわるエピソードを後世に伝えていく。これからも宮沢賢治の本は幅広い世代に親しまれ、魅力的な作品として読み継がれていくことでしょう。

昨年4月「宮沢賢治記念館」がリニューアルオープンしました。

「記念館は1982年、花巻市胡四王山(こしおうざん)の中腹に開館しました。今回のリニューアルは、若い世代の方

にも興味を持ってもらえる展示を意識しました。科学や芸術、宇宙、農業など賢治さんの心象世界、イーハトーブを映像で体感できる仕掛けがあります」と和樹さん。「林風舎」や自身の講演に宮沢賢治を好きな若い方が来てくれると嬉しいそうです。

「イーハトーブは夢を実現する場所、ドリームランドとしてよく使われています。作品には自分のいる場所をイーハトーブにすることができるといって、次世代へのメッセージが込められています」



# 技をつなぐ

店頭飾られたベルト(左)や剪定バサミ用のケース(右)。良質な革を使い、丁寧につくったものは、何十年と長持ちします。先代がつくった製品が修理に持ち込まれることもあるそうです。

## おや 父から娘へ受け継がれる技 こ 地域の伝統文化を次代へつなぐ

馬具・革製品 塩釜馬具店 (しおがまばぐてん) 岩手県盛岡市

唯一の馬具店として  
馬事文化をつなぐ  
馬具製造技術を活かした  
丁寧なものづくり

古くから名馬の産地として知られる岩手県。農耕に、輸送に、馬が私たちの暮らしを支えています。盛岡では、昭和初期まで馬車が走っていたこともあり、馬具店はたくさんありましたが、今では塩釜馬具店だけになりました。現在は3代目の塩釜孝さんが看板を守っています。

塩釜馬具店は、北海道で馬具職人として働いていた孝さんの祖父・孝造さんが、旧陸軍騎兵隊第三旅団の専属馬具職人として要請され、大正11年に盛岡へ移住し、独立したことに始まります。孝さんは大学卒業後、他業種に就職しましたが、後に家業を継ぎ、約40年にわたり職人として腕を磨いてきました。「最初は縫うことで革の性質を覚え、その後、革の見極め方や裁断の仕方を覚えていった」という孝さん。今では、触っただけで革の善し悪しが分かるといえます。

馬具や革製品の素材となるのが、なめした牛革です。革は部位によって厚さや柔軟性が異なります。馬具に適しているのは、「背取り」と呼ばれる背骨を中心とした背中の部分。強度が高くほとんど伸びません。現在、馬具の注文は伝統行事「チャグチャグ馬コ」に関わるものが主で、「首鈴」「鼻隠し」「耳袋」や鞍の内側など革が使われる部分を製作しているほか、装束の修理も行っています。

農耕馬が少なくなった頃から、馬具製造の技術を活かして様々な革製品を手掛けるようになりました。剪定バサミやベンチ用のケース、ベルト、バッグなど多岐にわたります。使用する革の部位も馬具とは異なり、脇腹下の部分は伸びる性質があるため道具を入れるケース類に、尻の部分はバッグなどに使用します。縫いも難しい技術です。「ミシンで縫ったものは、1カ所裂けるとすべてだめになりやすいのでやはり手縫いのほうが丈夫です」と、厚い革を一针一针手で縫って仕上げるのが孝さんのこだわり。頻繁に曲がる部分や摩擦が激しい所は、力の掛かり具合を計算し、慎重に折り返し縫いを施すなど、長く使えるよう丁寧な製品づくりを心掛けています。

一番人気の革製品は「熊鈴」。山に入る際に熊よけとして使用するもので、北海道で一般的な鈴が固定されたタイプです。これは初代から受け継いだ技術で、鈴が落ちないよう頑丈に取り付けられており、アウトドアや通学用、インテリアにと全国から注文があるそうです。

現在、娘の亜希子さんが4代目を目指し、孝さんの下で技術の習得に励んでいます。「チャグチャグ馬コの装束もそうですが、次代につないでいけるよう、様々な技を父から引き継いでいきたい」と話す亜希子さん。職人としての心構え、伝統の技術がしっかりと受け継がれていきます。

熊鈴は、「従来のベル型は落下することがあるので鈴が取れないのはできないのか」とお客様の要望を受けてつくられるようになりました。取り付けてある鈴は1〜3個で、好みに応じて選べます。

ベルト用の革を切る孝さん。予め専用のコンパスで線を引き、平行に裁断していきます。部位により性質が異なる革を見極め、製品に合わせていかに効率良く切り出すか、経験がものをいいます。



丸められた成牛の革(右)。「傷を負ったことのある牛の革は、その部分が弱くなっているので使えません」と孝さん。一見ただけでは分からないため、触って判断します。丸ざりや菱ざり(中)、革切包丁(左)などの道具は、どれも使い込まれ年季が入っています。関西方面から仕入れていましたが、阪神淡路大震災の影響などでやめた職人が多く、注文が難しくなりつつあるそうです。



革小物をつくる亜希子さん。目打を木箱でたたいて穴を開け、革ひもを通して仕上げます。店舗に併設したレザーショップには、亜希子さんがデザインしたアイテムも並んでいます。



取材当日、馬術部の大学生が鞍と頭絡(とづらく)の修理を依頼しに来店していました。



3代目の塩釜孝さん(左)と娘の亜希子さん(右)。

### 馬産地・岩手を象徴する初夏の風物詩 チャグチャグ馬コ

200年以上の歴史を持ち、農耕で疲れた馬をいたわり、人馬の無病息災、五穀豊穡を祈願する伝統行事です。馬に関する祭りは全国に様々ありますが、馬に感謝するための祭りはチャグチャグ馬コだけ。馬の装束に付いている鈴の音が「チャグチャグ」と聞こえることに由来します。色鮮やかな装束を着けた100頭もの馬と馬主が、馬の神を祀る滝沢市の鬼越蒼前神社(おにこしそうぜんじんじや)を参拝した後、盛岡市の盛岡八幡宮へと詣でます。昭和53年に国の「無形民俗文化財」に指定され、平成8年には環境庁の「日本の音風景100選」に選定されました。毎年6月第2土曜日に開催されます(今年は6月11日)。



滝沢市役所に展示されているチャグチャグ馬コの装束(左)。のどかな風景と軽やかな鈴の音、どこか懐かしさを感じられます(上、写真提供:岩手県観光協会)。



チャグチャグ馬コで使われる「首鈴」と「手網」。色鮮やかで華やかな装飾が祭りを盛り上げます。



塩釜馬具店  
岩手県盛岡市大沢川原2丁目2-32  
TEL/FAX.019-622-5393



三沢・下北半島エリアの食と観光をご紹介します！



TOHknet 青森支社  
吉野 和成

平成20年に入社、青森支社勤務は4年目。  
青森県内全域の回線工事を担当。

「仏ヶ浦」は佐井村を訪れたら見逃せない絶景スポット。白みを帯びた薄い緑色の凝灰岩が約2キロにわたって連なり、津軽海峡の荒波が造り上げた自然の造形美に圧倒されます。冬の荒々しい姿に比べ、夏は穏やかに海の青さに奇岩が映え、美し



い眺めが楽しめます。7月から1月頃まで津軽海峡ではマグロ漁が行われます。マグロのまち大間町には「マグロ一本釣りモニュメント」が大間崎に立っ

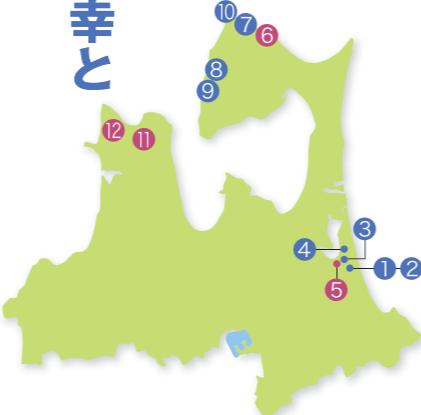


り、津軽海峡をバックに絶好の撮影ポイントとなっています。ちなみに、モニュメントは平成6年に水揚げされた440キロのマグロをモデルにした実物大。



下北半島の海の幸と景色を堪能

夏になるとイカ漁が盛んになる風間浦村。下風呂漁港に隣接する活イカ備蓄センターの大きな水槽には常時イカが備蓄され、注文してから目の前でさばいて提供してくれます。おすすめは「活イカ刺身定食」。身が透き通った新鮮なイカは甘みたっぷりで格別なおいしさです。青森で今が旬の海の幸といえばウニ。特に佐井村のキタムラサキウニは味が良く有名です。トロリとした食感と甘さを堪能するなら、ウニ丼がおすすめ。津軽海峡文化館アルサスのほか、ドライブインや食堂などで味わえます。



- ⑦ 活イカ備蓄センターで味わえる活イカの刺身。
  - ⑧ 新鮮な佐井村の「ウニ丼」。
  - ⑨ 白い奇岩と青い海のコントラストが美しい「仏ヶ浦」。
  - ⑩ 本州最北端の地に立つ「マグロ一本釣りモニュメント」。
- 活イカ備蓄センター  
TEL.0175-36-2112  
佐井村観光協会  
TEL.0175-38-4515 <http://saikanko.sakura.ne.jp/>  
大間町産業振興課  
TEL.0175-37-2111(代) <http://www.town.ooma.lg.jp>

地元のコトは地元の人に聞くのがイチバン！

東北＆新潟の魅力を社員の目線でお届けします。

今回ナビゲートするのは

青森支社の吉野和成と高内嵐。

おすすめの地元ネタとは？

vol.15 青森編

「地域ナビ」  
知りたい、伝えたい！  
地元の魅力

- ① ラニチキンファクトリーの「フリフリチキン」。
  - ② マイクス三沢店の「ケサディア」。
  - ③ 「青森県立三沢航空科学館」に展示されている世界記録を樹立した航研機。
  - ④ 館内は好奇心を刺激するテラヤマ・ワールドが広がります。
- 三沢市観光物産課  
TEL.0176-53-5111(代)  
<https://www.city.misawa.lg.jp>  
青森県立三沢航空科学館  
TEL.0176-50-7777  
<http://www.kokukagaku.jp>  
寺山修司記念館  
TEL.0176-59-3434  
<http://www.terayamaworld.com/museum>



TOHknet 青森支社  
高内 嵐

平成24年に入社、青森支社勤務は2年目。  
青森県内全域の回線工事を担当。



三沢でアメリカンフードと体験型観光を満喫

三沢市は市内に「スカプラ」と呼ばれるショッピングセンターや、アメリカンバーが点在し、当地料理が楽しめます。スカプラにあるラニチキンファクトリーはハワイ料理「フリフリチキン」の店。専用の機械でチキンを回転させながら炭火で焼き上げます。メニューはホールチキン、半身のハーフチキン、半身とポテトがセットになったコンボチキンの3種類。香ばしくスパイシーなチキンはやみつきになるおいしさです。メキシコ料理「ケサディア」はチーズをトルティーヤで包み焼いたもの。軽いピザのような食感で、サルサソースを付けて食べるのがオススメです。マイクス三沢店やアメリカンバーMY PLACEなどで味わえます。

飛行機などが展示され、中には実際に操縦席に座れるものもあります。参加型の科学実験工房は家族連れに人気です。「寺山修司記念館」はファンには欠かせない

スポット。主宰した演劇実験室「天井桟敷」の劇場をイメージした展示室や、機の引き出しに仕掛けられた展示品などユニークな展示が特徴です。

こちらもおすすめ

★三沢・下北半島エリアの温泉スポット

三沢市は市内に12カ所の温泉施設がある温泉天国で、どの施設も良質なお湯が楽しめます。この季節は自然との一体感を味わえる露天風呂がおすすめです。「星野リゾート 青森屋」の露天風呂・浮湯は、湯船が広い池に大きく張り出し、水に浮かんでいるような造りが特徴。お湯につかると、水面と同じ高さになり、池に浮かんでいるような開放感が味わえます。夜はライトアップされ、幻想的な雰囲気です。

風間浦村の「下風呂温泉郷」は、昔から湯治場として親しまれてきた温泉。乳白色の大湯系、透明に近い新湯系、海辺から湧く浜湯系と3カ所の源泉があります。小さな漁村の温泉街には、風情のある公衆浴場や温泉宿が点在。「遊めぐり」という湯めぐり手形が発行され、心ゆくまで温泉を堪能できます。お湯につかりながら、イカ漁の漁り火を眺めることができる宿もあります。



⑥「星野リゾート 青森屋」の露天風呂・浮湯。 <http://noresoreaomoriya.jp>  
⑦風情のある「下風呂温泉郷」。 <http://www.shimohuro.com>

こちらもおすすめ

★奥津軽いまべつ駅からめぐる旅

今年3月に開業した北海道新幹線奥津軽いまべつ駅より、ひと足早い昨年4月にリニューアルオープンした「道の駅いまべつ半島ぶらざアスクル」。駅に隣接する店内には、今別町や津軽半島の観光情報を紹介している展示コーナーや、海産物や山菜の加工品がそろった物産品コーナーのほか、鮮魚も販売されています。食堂では町特産のもずくを使った「もずくうどん」や、1日10食限定で「幻の黒毛和牛」と言われる「いまべつ牛」

のステーキや焼き肉定食が味わえます。海底240メートル、総延長53.85キロメートル、津軽海峡の海の底を貫く青函トンネル。「青函トンネル記念館」は、世界最長の海底トンネルの構想から完成までを映像や資料パネル、模型などを使って分かりやすく展示。海面下140メートルの世界を体験できる「体験坑道」の一角には掘削に使われた機械などがあり、当時の現場を再現展示しています。



⑧青函トンネルをイメージした外観が特徴の「道の駅いまべつ 半島ぶらざアスクル」。  
⑨外ヶ浜町にある「青函トンネル記念館」。  
※体験坑道はトンネル内の工事のため、6月30日まで見学中止となります。



株式会社新潟日報社様

高速イーサネット専用サービスで  
2拠点間を万全なネットワークで接続



担当者/TOHKnet 新潟支社  
荒井 岳洋

提案

広帯域な帯域保証型の  
「高速イーサネット専用サービス」で  
高機密・高品質な  
ネットワーク環境を実現しました。



課題

イーサネット回線で、  
広帯域で障害に強い  
ネットワークを  
構築したい。



編集局 システム部  
部長  
内山 哲也様  
(うちやま てつや)



編集局 システム部  
部長代理  
高野 郁雄様  
(たかの いくお)

2拠点間を接続するイーサネット方式の専用サービスで、通信障害の不安を解消

新潟日報社様には、2009年のWAN網の回線提案を機に、その後もご提案の機会をいただいております。

2013年に本社機能を移転し、本社と黒崎本社間をつなげる際は、障害に強いことが最重要課題でした。そこで、高速イーサネット専用サービスで、回線帯域は1ギガをご提案しました。

同サービスは、2拠点間を接続する帯域保証型の専用線サービスで、本社と黒崎本社間を高機密・高品質なネットワークでつなぐことができます。

さらに、万代と黒崎間は大切なデータをやり取りするため、万が一のトラブルに備えて複数のキャリアで二重化され、当社はデータ系の回線を担当しています。想定されるさまざまなリスクを回避し、異ルートにするため、末が万代、サーバが黒崎と離れることに対して、通信速度や回線ダウンなどを心配されていましたが、入念にテストを行い、問題がないことを確認し、導入いただきました。

新潟県は災害が多かったので、通信回線は、対障害に加えて対災害を考慮したサービスが求められます。当社では、お客さまニーズに対応した各種クラウド系のサービスを増やしています。また、新潟日報社様も、今後の展望



黒崎本社内にあるサーバ室。ネットワークの動作の確認を行っている様子。

障害に強いネットワークサービスと、回線二重化でリスクを回避

新潟日報社は東京・大阪の他、県内20カ所に取材拠点があり、支社、総支局、記者クラブを結ぶWAN(広域通信網)用の回線サービスが終了するのを機に、2009年に再構築の検討を開始しました。複数の回線キャリアに提案を依頼し、別会社に決まりました。その後2013年に本社機能を新潟市中央区万代地区に移すことになり、ネットワークの再検討を行いました。結果、従来の黒崎本社をデータセンターとしてサーバを置き、万代地区の本社に端末を配置する構成となりました。

本社は新聞制作の重要拠点です。障害に強いということを最重要視し、イーサネット回線で広帯域を確保。また、回線キャリアを複数に分けるという判断を

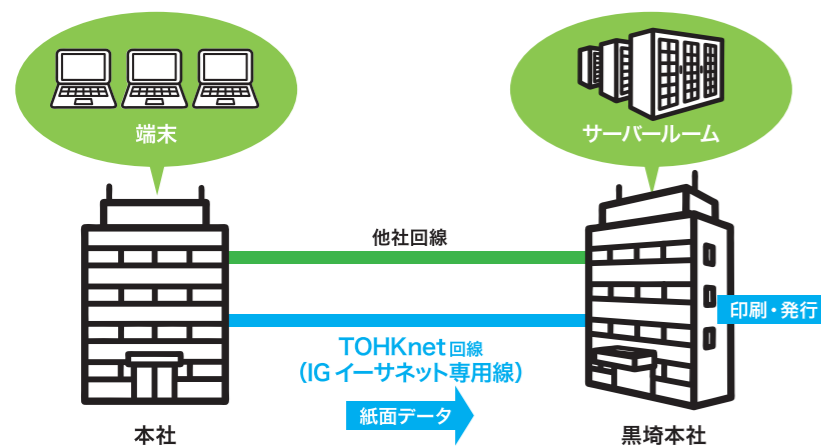


黒崎本社に併設のPR施設「おもしろしんぶん館」では、新聞作りの様子を見学できます。

し、TOHKnetの提案を採用しました。新聞制作のシステムは、レスポンスが非常に重要ですので、当初は万代と黒崎に端末とサーバが分かれることで、回線のボトルネックが心配でした。回線帯域を太くし、何度もテストを行いました。現在まで約3年、現場から遅延やトラブルも特になく、スムーズに運用できています。

新潟は50年の間に新潟地震、中越地震、中越沖地震と3回大地震が起きました。さらに豪雪、水害の発生も懸念される地域です。現在、社の情報資産は社内です。管理しています。今後、これまでの資産である膨大なデータを守るための対策が必要だと考えています。

2拠点間を万全のネットワークで接続する  
高速イーサネット専用サービス



新潟日報社様にご提案した高速イーサネット専用サービスは、専用線ならではの高機密で高品質なネットワーク環境を実現。2拠点間を万全の体制で接続したいお客さまにおすすめのネットワークサービスです。回線はニーズに合わせた、広帯域な帯域保証型専用線を提供します。24時間365日の保守体制なので、安定した運用が可能です。万が一障害が発生した時は、ワンストップで迅速な障害復旧作業を行います。

提案のPOINT

高機密・高品質なネットワーク

ニーズに合わせた、  
広帯域な帯域保証型の専用線

24時間365日の保守体制

Introduce \* 株式会社新潟日報社

人と人、人と地域、地域と地域をつなぐ総合情報企業

「新潟日報」約50万部を発行するほか、全国紙の受託印刷も行う新潟日報社。2013年に北前船をモチーフにした「メディアシップ」を建設。人・モノ・コト・情報が行き交う交流・情報発信拠点を目指し、本社機能を移転しました。2014年には黒崎本社(愛称:メディアポート)に体験型PR施設「おもしろしんぶん館」を開設。小学校高学年の社会科見学などに利用されています(見学無料、予約制 ※個人の場合5名以上)。また、読者参加型の会議を開き、今年秋には夕刊を進化させ、新たな情報を発信予定。地域に根ざした事業展開で新潟の発展に貢献しています。

本社 新潟県新潟市中央区万代3-1-1 TEL.025-385-7111 (番号案内)  
黒崎本社 新潟県新潟市西区善久772-2 TEL.025-378-9313 (総務)

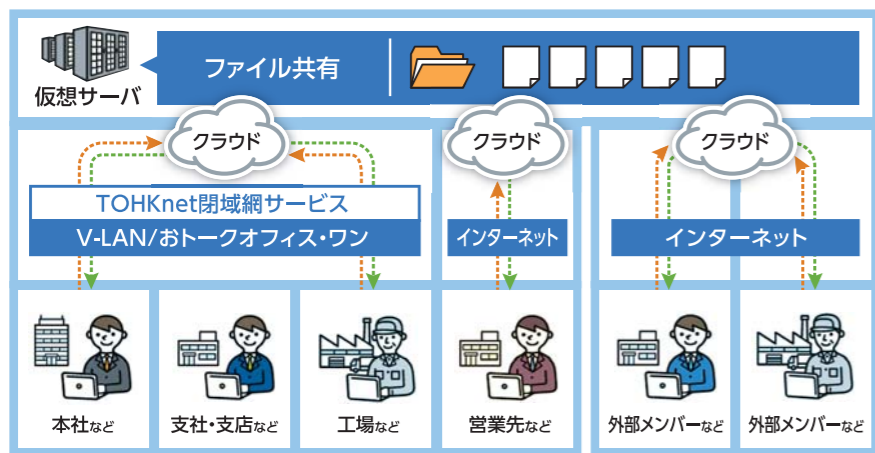
<http://www.niigata-nippo.co.jp>

(写真左側) 本社(メディアシップ)  
(写真右側) 黒崎本社(メディアポート)

※文中に記載の組織名・所属・役職・サービス名などはすべて2016年5月時点のものです。



# TOHKnet ServeMall「ファイル共有サービス」



メンバー登録すれば、利用場所やデバイスを選ばず、許可されたファイルを共有可能

**value1**  
重要データの保管もご安心を！  
充実のセキュリティ機能で、  
安全・安心なファイル共有が可能です。

**value2**  
法人向けに特化した機能を満載！  
導入から運用保守まで、  
しっかりとサポートいたします。

**value3**  
外出先でも、スマートデバイスを利用して最新データを確認できます。

2016 Japan IT Week 春 ビッグサイト

## 第8回 データセンター展春に出展

(旧称:データセンター構築運用展)

5月11日(水)から13日(金)の3日間、東京ビッグサイトで行われた「第8回データセンター展【春】」に当社が出展しました。本展示会は、「Japan IT Week 春 2016」を構成する専門展の一つで、サーバ、ラック、UPSといったファシリティ、ネットワーク機器やデータセンター誘致など、データセンターの構築・運用に関わるソリューションを紹介したものです。開催期間中は多くの方が来場し、活発に商談が行われました。



当社が出展したデータセンタークロスアライアンスの様子

## 読者プレゼント

「JoinT」をお読みいただきましてありがとうございます。vol.15は岩手県の人と技の特集、青森県の情報などをご紹介しました。今後も皆さまのご意見を参考に、よりよい誌面づくりを行ってまいりますので、ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。

**A** 絵で読む 宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界  
3名様  
2007~2008年にかけて各地で開催された展示会用に出版した限定本です。  
257×190×22mm、277頁

**B** 塩釜馬具店の熊鈴  
3名様  
※色は選べませんのでご了承ください。  
アウトドア用はもちろん、ドアに付けて「呼び鈴」としてもご利用いただけます。  
115×30mm、鈴1個

**C** 一ノ蔵のあま酒  
5名様  
健康志向の方々に注目されている米糀100%の伝統食材です。  
130g(ストロー付)×6個、アルコール分0%

応募方法

下記URLより「JoinT読者プレゼント」にアクセスして、アンケートにお答えの上、ご応募ください。

<https://www.tohynet.co.jp/joint/>



締め切り/2016年8月31日(水)

当選発表/厳正な抽選の上、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。  
※プレゼント賞品は内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※応募に際していただきました個人情報につきましては、本誌プレゼントの運営および「JoinT」の編集に役立てる目的にのみ使用いたします。

編集後記

vol.15から表紙をリニューアルしました。本誌テーマの「つなぐ」にふさわしい道路や線路、トンネル、橋、川、海などを題材にした風景をイラストで紹介。写真は異なる風景の描写でお届けします。

## 宮城に夏の訪れを告げる風物詩

「第69回 塩竈みなと祭」が7月18日に開催されます!

東北を鎮護する陸奥国一之宮として古くから崇敬されてきた鹽竈神社。塩竈みなと祭は、戦後間もない昭和23年に塩竈の復興と市民の元氣回復を願い、鹽竈神社例祭にあわせて行われたのが始まりで、現在は広島県厳島神社の管絃祭、神奈川県貴船神社の貴船まつりと並び日本三大船祭りの一つに数えられています。本祭は毎年7月の第3月曜日(祝日・海の日)に行われ、鹽竈神社と志波彦神社の神輿が松島湾内を渡御します。最初の見どころは、それぞれの神社の御輿2基が202段の表参道を同列で下りるところ。その後、西ふ頭まで移動した御輿は2隻の御座船「鳳凰丸」「龍鳳丸」に奉安され、100隻にも及ぶお供の船を従え松島湾内をゆつくりと巡幸。日本三景の美しい景色の中で、一大絵巻が繰り広げられます。海上渡御から戻った2基の御輿が還御する様子も見どころの一つ。塩竈甚句が唄われる中、表参道を上っていく御輿には勇壮で荘厳な雰囲気漂います。本祭の前日には前夜祭が行われ、花火大会なども開催されます。今年は7000発の花火が打ち上げられ、大輪の花々が塩竈の夜空と海面を華やかに彩ります。港町・塩竈ならではの夏祭りをぜひお楽しみください。



たくさんの見物客に見守られながら表参道(表坂)を下りる2基の御輿。担ぎ手の熱気が伝わってきます(上)。宮城県内で夏季一番早く行われるという花火大会。花火鑑賞クルーズなども楽しめます(下)。



多くの見物客に見守られながら表参道(表坂)を下りる2基の御輿。担ぎ手の熱気が伝わってきます(上)。宮城県内で夏季一番早く行われるという花火大会。花火鑑賞クルーズなども楽しめます(下)。



塩竈みなと祭は、東日本大震災においても中止せず継続して実施し被災地の復興の象徴になったこと、地域に根差した伝統行事として魅力が評価され、ふるさとイベント大賞において最高賞である第1回内閣総理大臣賞を受賞しました。

東北の夏祭りの先陣を切り盛大に開催

### 第69回 塩竈みなと祭

●駐車スペースに限りがございますので、祭りにお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

- 【前夜祭】 ●日時/平成28年7月17日(日) 20:00~20:45(花火大会)  
※荒天時は7月23日(土)に順延  
●場所/マリンゲート塩竈周辺
- 【本祭】 ●日時/平成28年7月18日(月・祝) 10:00~19:00  
●場所/塩竈市内各所

■お問い合わせ  
塩竈市観光物産協会 宮城県塩竈市海岸通5-7  
TEL.022-364-1165 FAX.022-364-1169  
<http://kankoubussan.shiogama.miyagi.jp/>  
※前夜祭・本祭ともたくさんのイベントが行われます。イベント等の詳細はお問い合わせください。

TOHKnetのサービスをご利用いただいているユーザー企業さまをご紹介します。

お客さま紹介

## 品質本意で革新的な挑戦を続ける宮城の蔵元 一ノ蔵様



酒づくりを機械任せにせず、香りを嗅いだり、手で触ったり、舌で味わったりと、杜氏や蔵人の五感をフルに使って、美味しい酒を醸造しています(上)。「ひめぜん」はアルコール分8%で、爽快感のある酸味と甘さを抑えた味わいが特徴。「すず音」はアルコール分が5%。シャンパンのような喉ごしを楽しめる発泡性の清酒です(下)。



一ノ蔵は、宮城県内の蔵元であった浅見商店・勝栄酒造・桜井酒造店・松本酒造店の4社合同により昭和48年に設立。以来、「一人の想いを大切に、良い米を使い、手間をかけ、良い酒をつくる」という姿勢を貫き、伝統の手づくりを基本とした高品質な酒をつくり続けています。昭和52年、国の級別審査をあえて受けず、質の高い本醸造酒を税金の安い二級酒「一ノ蔵無鑑査®」として売り出しました。これが呼び水となり、全国の蔵元で優良な地酒がつかられ始め、清酒市場が活性化。その後も伝統の技と心意気を守り、完成度の高い日本酒を生み出します。進取の気風に富む同社のもう一つの挑戦が、低アルコール酒の開発です。美味しく女性にも喜ばれるものをつくろうと取り組み、昭和63年に「ひめぜん」を発売。さらに平成10年、ひめぜんで培ったノウハウを礎に発泡清酒「すず音」を発売し、まったく新しい低アルコール飲料の市場を開拓しました。常にお客さまと向き合い、気持ちに寄り添い、心に響く日本酒を届けたいとの想いを、新たな伝統を築きます。

株式会社 一ノ蔵 宮城県大崎市松山千石字大樺14 TEL.0229-55-3322(代) <http://www.ichinokura.co.jp/>



TOHKnetの事業所と社員を紹介します。

## 青森支社



青森支社  
〒030-0812  
青森市堤町2-1-7  
堤町ファーストスクエアビル7F  
TEL 017-751-4201 (代)

### 社員一人ひとりが使命感を持って業務に励んでいます!

青森支社はJR青森駅から車で約10分の場所に位置しています。晴れた日には津軽海峡や八甲田山を一望でき、仕事の合間に景色を眺めて気分転換ができます。

東日本大震災以降、支社独自の非常災害対応マニュアルを作成し、社員一人ひとりが迅速に対応できる体制を整えました。また、社員の意識向上を図るため「みんなでがんばろう! TOHKnet」の標語を掲げるとともに、月初めには安全や衛生に関する支社内目標を指差し呼称するなどの活動に取り組んでいます。

### 青森支社のメンバーたち



お客様のニーズにお応えし、通信サービスを滞りなく提供するために、社員一丸となって業務に励んでいます。

青森県は営業エリアが広く、単独で行動することも多いため、ホウ・レン・ソウを徹底し、適切な対応を心掛けています。



青森支社 支社長  
山上 秀夫



〔表紙のイラスト〕

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』のモチーフになったとされる岩手軽便鉄道(現JR釜石線)。遠野市にある5連アーチの「宮守川橋梁」(めがね橋)のわきには、当時を偲ばせる石組み橋脚の一部が残っています。遠野市に「達曾部川橋梁」(岩根橋)というアーチ橋があり、こちらを同作品のモデルとする説もあります。

「JoinT」バックナンバーはHPでご覧いただけます。

<http://www.tohknet.co.jp/joint/>

トクネット  
**TOHKnet**  
つなげる力を、明日のために。

【お問い合わせ】

TEL:022-799-4211

(受付時間/平日 9:00~17:00)

e-mail: joint@tohknet.co.jp